

2022 年度日本環境感染学会教育委員会主催 医療疫学トレーニングコース実施のお知らせ

本トレーニングコース全体の目的は、医療関連感染に関する疫学と集団発生(アウトブレイク)の原因調査に関する知識を備えた病院疫学者を育成することです。本年度からコース名を変更しました。導入編、初級編(従来の基礎編)、中級編(従来の集団発生調査編)および上級編の4つのコースを実施いたします。なお、本年度もコロナ感染症の流行を鑑み、情報交換会は開催いたしません。

ご参加を希望される場合、日本環境感染学会ホームページ上の「医療疫学トレーニングコース参加者募集のお知らせ」からお申し込みをお願いいたします。

1. 【導入編】

目標 本トレーニングコース終了時点で、受講者は Microsoft Excel (以下、Excel) の以下の操作方法および関数を使用することができる。

- 1) 見本データの数値を用いて、代表値(平均値、中央値、最頻値)、標準偏差、25パーセンタイル値、75パーセンタイル値、最小値、最大値を算出できる。
- 2) 見本データの数値や代表値等を表にまとめることができる。
- 3) 2) で作成した表を使って、ヒストグラム(柱状グラフ)を作成できる。

注: 本コースは、初級編で必要となる Excel の操作上に必要な知識ならびに技術を習得することを目指している。

開催日時ならびに会場

2022年10月8日(土曜日)

東京医科歯科大学(東京都文京区湯島 1-5-45)

交通アクセス: JR・東京メトロ丸の内線 御茶ノ水駅より徒歩3分

募集人員 15名(初級編受講希望で Excel 操作に自信のない方は、ぜひご応募ください)。

募集時条件 (以下の3つを満たしていること)

- ①日本環境感染学会の会員であること
- ②医療関連感染対策の分野における臨床での活動経験(1~2年程度)があること(どのような活動経験か、具体的にお書きください。例 リンクナース歴1年)
- ③Excel(2010以降のバージョン)が使用可能なパーソナルコンピュータを持参できること

参加費 5千円

内容 13:30~受付、14:00開始、17:30終了

- 講義(1) Excel 操作のための基礎知識①: Excel の基本操作、代表値算出のための関数
演習(1) Excel で表を作ってみよう: 見本データを用いた代表値の算出と表作成
講義(2) Excel 操作のための基礎知識②: Excel でのグラフ作成の手順
演習(2) Excel でグラフを作ってみよう: 演習(1)の表を用いたヒストグラムの作成
受講証授与・写真撮影

※演習で USB メモリースティックによるデータの受け渡しがあります。USB タイプ A の接続口がないパーソナルコンピュータを持参の場合は、変換機などをご持参ください。

2. 【初級編】 (2021年度までの基礎編に該当)

目標 本トレーニングコース修了時点で、受講者は

- 1) 統計学医療疫学の基礎的知識を説明できる。
- 2) 日々の微生物の検出状況や各種感染症の発生状況を整理し、必要な情報を Excel 等に入力および全体像を推測することができる。
- 3) 入力済みの情報を適切な方法で処理し、統計ならびに医療疫学の知識を活用し、結果を解釈し、まとめることができる。

注：本コースは、集団発生調査編で必要となる統計学・医療疫学の知識ならびに技術を習得することを目指している。

日時ならびに開催場所

2022年10月9日・10日（日曜日・月曜日）

東京医科歯科大学（東京都文京区湯島 1-5-45）

交通アクセス：JR・東京メトロ丸の内線 御茶ノ水駅より徒歩 3 分

募集人数 25名

募集時条件（以下の4つを満たしていること）

- ①日本環境感染学会の会員であること
- ②医療関連感染対策の分野における臨床での活動経験（1～2年程度）があること（どのような活動経験か、具体的にお書きください。例 リンクナース歴1年）
- ③疫学・統計学を学びたいという強い意志があること
- ④Excel（2010以降のバージョン）が使用可能なパーソナルコンピュータを持参できること

参加費 2万5千円（2日間の昼食代込み）

内容

第1日目（10月9日） 9：30～受付、9：50開始、17：15終了

- | | |
|----|--|
| 午前 | 講義（1） 記述統計の基礎：統計学の基本となる記述統計 |
| | 講義（2） 疫学の基礎知識①：疫学の目的、比・割合・率の違い、サーベイランス結果の指標となる有病率、罹患率（発生率）、罹患密度（人年法） |
| 午後 | 演習（1） 記述統計演習①：MRSA事例のラインリスト・ヒストグラムの作成 |
| | 演習（2） 記述統計演習②：平均値や標準偏差などの算出 |
| | 写真撮影 |

第2日目（10月10日） 9：00開始、17：00終了

- | | |
|----|--|
| 午前 | 講義（3） 疫学の基礎知識②：曝露、曝露因子、リスク因子の定義、リスク因子と疾病との関連の疫学的指標 |
| | 演習（3） 疫学演習：MRSAの事例から有病率・罹患率の算出 |
| 午後 | 講義（4） 推測統計の基礎：仮説検定のプロセス、クロス表の作成 |
| | 演習（4） 推測統計演習①：MRSAの事例からクロス表の作成 |
| | 演習（5） 推測統計演習②：作成したクロス表をもとにカイ二乗検定の実施 |
| | 総括、修了書授与 |

※演習でUSBメモリースティックによるデータの受け渡しがあります。USBタイプAの接続口がないパーソナルコンピュータを持参の場合は変換機などをご持参ください。

3. 【中級編】（2021年度までの集団発生調査編に該当）

目標 本トレーニングコース修了時点で、受講者は

- 1) 医療関連感染の集団発生調査に必要な医療疫学ならびに統計学の基本的知識を説明できる。
- 2) 集団発生の原因調査の手順に関する知識を説明できる。
- 3) 集団発生調査に必要な文献の批判的吟味を実施できる。
- 4) シミュレーション演習を通し、集団発生調査のデータの解釈の仕方、原因探究の実際のプロセスを述べることができる。

注:本トレーニングコースは、集団発生の現場対応の実際を習得することを目的としていない。

開催日時ならびに会場

2022年11月26日・27日（土曜日・日曜日）

京都 石黒メディカルシステムズ株式会社（京都市伏見区武田中川原町381番地）

交通アクセス：近鉄京都線・地下鉄烏丸線 竹田駅より徒歩5分

募集人数 30名

募集時条件（以下の4つを満たしていること）

- ①日本環境感染学会の会員であること
- ②医療関連感染対策の分野における臨床での活動経験（3年程度）があること（どのような活動経験か、具体的にお書きください。例 ICT 歴3年）
- ③初級編でカバーする記述統計学に関する内容を概ね理解できていること
- ④パーソナルコンピュータを持参できること

参加費 2万5千円（2日間の昼食代込み）

内容

第1日目（11月26日）8：40～受付、8：55開始、17：15終了

- | | | |
|----|-------|--|
| 午前 | 講義（1） | 疫学・統計学①：代表的な疫学研究デザインである症例対照研究、後ろ向きコホート研究 |
| | 講義（2） | 疫学・統計学②：アウトブレイク調査のプロセス、文献の読み方の基礎知識 |
| 午後 | 演習（1） | Outbreak Investigation①：外科系病棟におけるMDRP 集団発生事例 |
| | 講義（3） | 最近報告された医療関連感染の集団発生事例 |
| | | 写真撮影 |

第2日目（11月27日）8：45開始、16：00終了

- | | | |
|----|-------|---|
| 午前 | 演習（2） | 文献の批判的吟味の実際 |
| | 講義（4） | 疫学・統計学③：演習（2）の文献で用いられた単変量解析の解説 |
| | 講義（5） | 疫学・統計学④：演習（2）の文献で用いられた多変量解析の解説 |
| 午後 | 演習（3） | Outbreak Investigation②： <i>Clostridioides difficile</i> のアウトブレイク調査のグループワーク 記述疫学による調査 |
| | 演習（4） | Outbreak Investigation②： <i>Clostridioides difficile</i> のアウトブレイク調査のグループワーク 分析疫学によるリスク因子の検討 |
| | 演習（5） | グループワークでの検討結果発表および講評 |
| | | 総括、修了書授与 |

※演習でUSBメモリースティックによるデータの受け渡しがあります。USBタイプAの接続口がないパーソナルコンピュータを持参の場合は変換機などをご持参ください。

4. 【上級編】

目標 本トレーニングコース修了時点で、受講者は

- 1) 医療関連感染サーベイランスやアウトブレイク調査において、リスク因子の検討を目的にコホート研究または症例対照研究で行われる線形回帰モデルおよびロジスティック回帰モデルについて説明できる。
- 2) シミュレーション演習を通し、統計ソフト（EZR）を使用した線形回帰モデルおよびロジスティック回帰モデルの適切な手順の進め方、結果の解釈を述べることができる。

日時ならびに開催場所

2023年1～2月に実施予定 決まり次第ホームページ上で告知予定

開催場所は大阪方面で検討中。決まり次第、お知らせします。

募集人数 15名（なお、応募多数の場合の参加者については委員会に一任いただきます。応募資格や地域性等を考慮し調整させていただきます）。

募集時条件 （以下の4つを満たしていること）

- ① 日本環境感染学会の会員であること
- ② 医療関連感染対策の分野における臨床での活動経験（3年程度）があること（どのような活動経験か、具体的にお書きください。例 ICT 歴3年）
- ③ 疫学・統計学の基礎的な知識を持っていること
- ④ パーソナルコンピュータを持参できること（Windows 10以上のOSのパソコンをご持参ください。Mac OSはEZRの動作不良を起こすことが多いため、できるだけお避けください。また、Mac OSの場合、チュータが演習支援を十分担当できない可能性もあることもご承知おきください。）

参加費 1万円（昼食代込み）

講師 調整中

内容（予定、変更する可能性もあります。決まり次第お知らせします）

9：40～受付、8：55開始、16：00終了

午前 講義・演習（1） 統計ソフト EZR の基本操作、仮説検定の選び方、多変量モデルの選び方（線形回帰モデル・ロジスティック回帰モデル）

午後 講義・演習（2） EZR で演習用データを用いた多変量モデルの使い方（線形回帰モデル・ロジスティック回帰モデル）

実際の臨床研究における多変量モデルの戦略

修了証書授与・写真撮影

※演習で USB メモリースティックによるデータの受け渡しがあります。USB タイプ A の接続口がないパーソナルコンピュータを持参の場合は変換機などをご持参ください。